

2022/10

vMatrix クラウドングル ベンダーツール説明書

RiBiG Inc.

<https://www.ribig.co.jp/vmatrix>

内容

I. ベンダー Web ページ	3
ベンダログインの 2FA 有効化	3
注文履歴表示	4
vDongle の3つの状態	5
初期状態から2FA 有効状態への移行	6
2FA 有効状態から所有権取得状態への以降	6
2FA 設定のリセット	7
2FA エラーのリセット	7
UC(ユーザコード)エラーのリセット	7
強制デタッチ	8
dongle 設定	8
書禁	8
有効期限日	8
dongle タイプ(ローカルdongle の場合のみ)	9
メモ	9
メモリー	9
暗号鍵	12
Net(ネットモード)	13
注文明細の CVS ファイルダウンロード	13
注文明細に含まれるdongle のシリアル番号のダウンロード	14
ログインパスワード変更 / 2FA リセット	15
1. 2FA リセット	15
2. パスワード変更	16
II ベンダーアタッチツール	17
ベンダ用 vDongle アタッチツール(vendor-attach.exe)	17
デタッチ	18

I. ベンダー Web ページ

ベンダーの vMatrix ドングルを閲覧、編集できます。

<https://vdongle.ribig.co.jp/vendor/>

ログインしていなければログインページが開きます。



vMatrix ベンダー用サイト 総合フォーム

ログインID:

パスワード:

認証コード:

ログイン

初回ログインは受け取った LoginID/パスワードのみを設定してください。認証コードは不要です。

ベンダログインの 2FA 有効化



vMatrix ベンダー用サイト アカウント ログアウト 総合フォーム

2FAが無効になっています

2FA有効化

ベンダページは 2要素認証が有効になっていなければ表示されません。[2FA 有効化]をクリックすると QR コードが表示されます。認証アプリでスキャンしてください。

認証アプリで QRコードをスキャンしてください
スキャン後、同一アカウントの旧エントリを必ず削除してください
ログアウトしていますので再ログインが必要です



QRコードが表示された時点で2FA が有効になります。認証アプリで QRコードをスキャンしないとログインできなくなりますので、必ずスキャンしてください。

QRコードが表示された時点で自動的にログアウトしていますので再ログイン操作が必要です。

2FA 有効化後は、ログイン ID/パスワード/認証コードを設定してログインします。

vMatrix ベンダー用サイト ログインフォーム

ログインID:

パスワード:

認証コード:

注文履歴表示

ログインすると、これまでの注文の履歴が表示されます。

注文履歴

日付	注文番号	ドングル数
2021-09-12		3
2021-09-11		4
2021-09-01		9

“ドングル数”列のボタンをクリックすると、注文の詳細が表示します。

注文 (2022-06-19)

no.	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日
no. 1	792F8497-4FB1-11ED-85E8-D95586586C7	1000000020	216 MB	6	1000000020	2022-07-03 14:51:48
	パスワード	書誌	有効期限日	タイプ	Lic	XE
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	1		
no. 2	7F7AC268-0244-11ED-85E8-D95586586C7	1000000029	216 MB	6	1000000029	2022-07-13 09:46:42
	パスワード	書誌	有効期限日	タイプ	Lic	XE
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0		
no. 3	D482A398-0271-11ED-85E8-D95586586C7	1000000030	216 MB	6	app1	
	パスワード	書誌	有効期限日	タイプ	Lic	XE
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0		
no. 4	D982A27C-0271-11ED-85E8-D95586586C7	1000000031	216 MB	6	unnamed	
	パスワード	書誌	有効期限日	タイプ	Lic	XE
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0		

vDongle の3つの状態

1. 初期状態
2. 2FA 有効化状態
3. 所有権取得状態

ベンダが受け取る vDongle は初期状態になっています(パスワード欄にパスワードが設定されています)。ユーザが UID/パスワードでドングルの 2FA を有効化すると 2FA 有効化状態になります(パスワード欄が空になります)。vDongle ファイルをダウンロードすると所有権取得状態になります(所有権要求日がセットされます)。注文詳細に表示される vDongle は3つの状態のいずれかになります。

上の注文詳細では、No.4 は初期状態、No.3 は2FA 有効化状態です。No1,No2 は所有権取得状態です。

初期状態から2FA 有効状態への移行

ベンダーはドングル利用者にドングルの UID とパスワードを通知してください。それを受け取った利用者は ユーザページ(<https://vdongle.ribig.co.jp/user/>) で UID/パスワードを使って ドングルの 2FA を有効できます。

初期状態のドングル明細番号はリンクになっています。クリックすると UID/パスワードをファイルとしてダウンロード、また、指定メールアドレスに送信できます。

UID	
23476E	7B8EAFc
パスワード	
1GZ	RZ47

vDongle情報送信	<input type="checkbox"/>	
<input type="text"/>		
Download	Mail	Close

ダウンロードボタンでファイルとしてダウンロードします。メールアドレスを指定して Mail ボタンをクリックするとメールとして送信されます(送信元アドレスは vdongle@ribig.co.jp)

ドングルの 2FA が有効化されると明細番号はクリックできないようになります。

2FA 有効状態から所有権取得状態への以降

ドングル利用者はドングルの2FA を有効にすると vDongle ファイルをダウンロードできるようになります。利用者が vDongle ファイルをダウンロードすると所有権取得状態になります。

2FA 設定のリセット

ユーザが認証アプリをインストールしてあるデバイスを紛失するなどして認証コードを入力不能な場合、2FA をリセットできます。

UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
D482A398-0271-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000030	316 容量	6	app11	2022-07-13 15:12:25	
パスワード	書誌	有効期限日	タイプ	Net	メモ	
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd 	0	0		

2FA リセットボタンをクリックするとパスワード欄にパスワードがセットされます。UID/パスワードの通知を受けたドングル利用者はドングル2FA を有効化できます。ドングルの2FA リセット後、ドングル利用者は再度vDongle ファイルをダウンロードするようにしてください。

2FA エラーのリセット

2FA の認証コードを連続して何度か間違えて入力すると vDongle はロックします。ロックすると vDongle の明細番号の下に “2FA エラ” と表示されます。

UID
no. 2 2FAエラー CEB7F81C-1443-11EC-939E-0A5077B8EAF0
パスワード

クリックするとロックを解除できます。ロック解除はエラーカウンターをリセットするのみです。2FA の設定は変わっていませんので、認証アプリに表示されているコードは有効です。

UC(ユーザコード)エラーのリセット

ドングルに対して誤ったユーザコードで連続してアクセスすると vDongle はロックします。ロックすると vDongle の明細番号の下に “UC エラ” と表示されます。

UID
no. 1 UCエラー 792FB497-FFB1-0A565B65
パスワード

クリックするとリセットとしてロックを解除します。

強制デタッチ

何らかの理由でデタッチできなくなった dongle を強制的にデタッチします。強制アタッチするには UID のリンクをクリックしてください。

	UID	シリアルNo	
no. 1	792FB497-FFB1-11EC-85E8-0A565B6586C7	1000000028	

dongle 設定

書禁

dongle を書込禁止にします。書込 API は失敗します

	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
no. 2	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 容量	6	1000000029	2022-07-13 09:46:42	
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	xE	
		<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd 	0	0		

書禁は一括設定可能です。ボタンですべての dongle の書禁を有効化/無効化します。

	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
no. 1	792FB497-FFB1-11EC-85E8-0A565B6586C7	1000000028	316 容量	6	1000000028	2022-07-01 14:51:48	

有効期限日:

dongle が使えなくなる日を指定できます。

変更後は必ず保存してください。

	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
no. 2	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 容量	6	1000000029	2022-07-13 09:46:42	
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	xE	
		<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd 	0	0		

ドングルタイプ(ローカルドングルの場合のみ)

フリーは0, ユーザドングルにするには1, システムドングルにするには2 をセットします。変更後、必ず保存してください。

2022/10 システムドングルのみになりましたので設定は不可です。

no. 2	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日
	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 編集	6	1000000029	2022-07-13 09:46:42
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	メモ
		<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0	

メモ

ドングルに関する備考を残せません。変更後必ず保存してください。

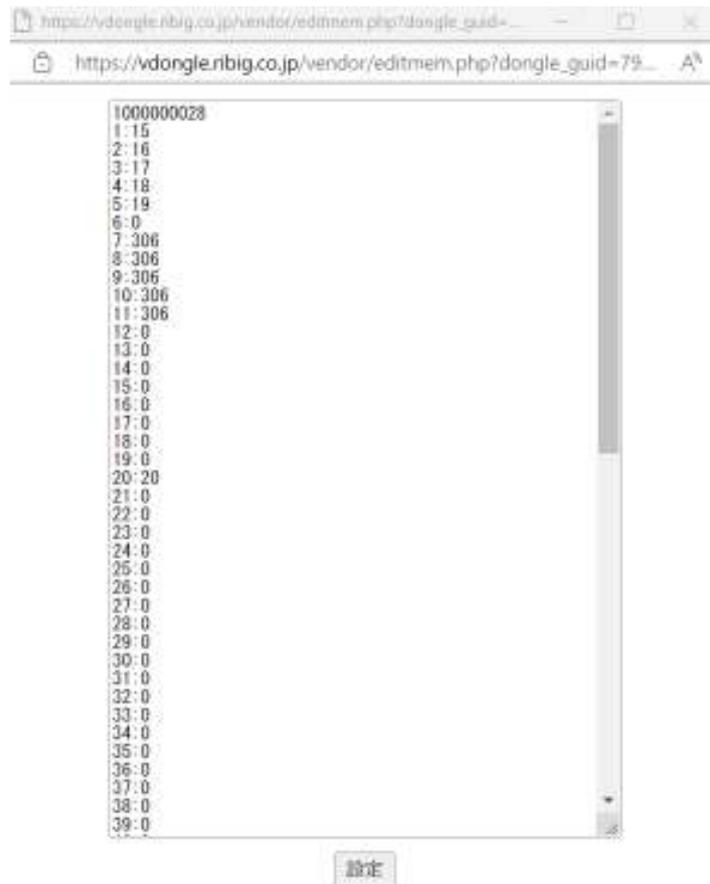
no. 2	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日
	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 編集	6	1000000029	2022-07-13 09:46:42
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	メモ
		<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0	

メモリー

ドングルのメモリーフィールド(1-79)を編集できます。

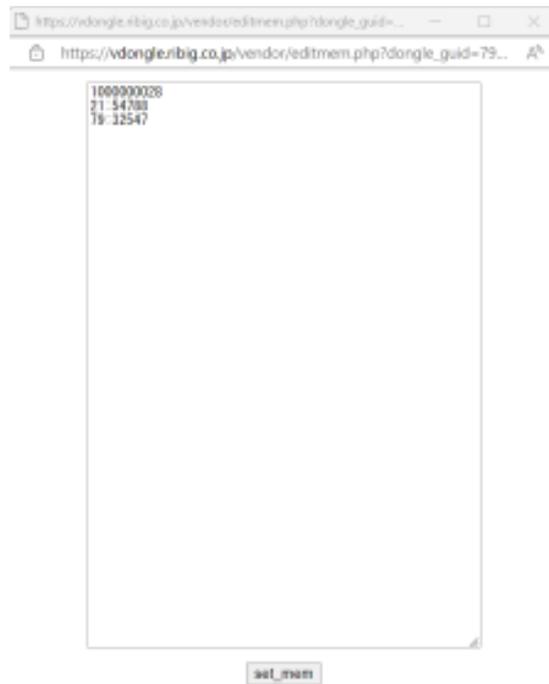
no. 2	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所
	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 編集	6	1000000029	2
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	メモ
		<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0	

“316”(メモリサイズ)をクリックすると別ウィンドウが開き、テキストフィールドにシリアル番号、フィールド番号:フィールドデータが1行ごとに表示します。



変更したいフィールドのデータを変更後、[set_mem]ボタンでフィールドデータを変更できます。1から79までのすべてのフィールドを設定する必要はありません。変更するフィールドのみ指定するだけでかまいません。途中で空行が見つかったと処理がそこで終了してしまいます。

例:フィールド21と79だけを設定



以下フォーマットで複数 dongle のフィールドデータを一括で設定することも可能です。

シリアル番号

フィールド番号:フィールドデータ

。。

シリアル番号

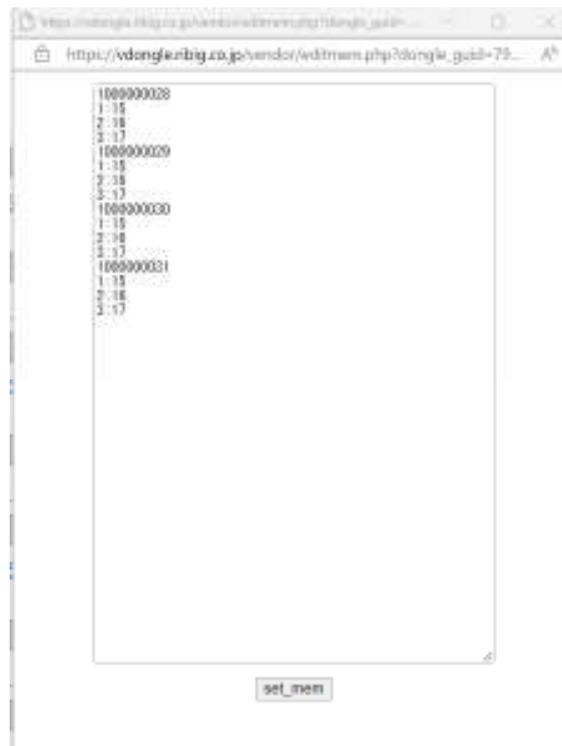
フィールド番号:フィールドデータ

。。

シリアル番号

フィールド番号:フィールドデータ

。。



暗号鍵

暗号鍵を設定できます（取得することはできません）。

	UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所
no. 2	7F7AC268-0244-11ED-85E8-0A565B6586C7	1000000029	316 暗号鍵	6	1000000029	2
	パスワード	書禁	有効期限日	タイプ	Net	メモ
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0	0		



暗号鍵 1,2,3,4 に鍵データ(32ビット数値) をセットして[set_enckey]クリックで設定します。メモフィールドと同じように複数の dongle の暗号鍵をセットできます。



Net(ネットモード)

0,1,2 のいずれかを設定します。規定値は 0(ローカルドングル)

1 か 2 に設定するとネットワークドングルとして機能します。

UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
no.1 792FB497-4FB1-11E8-85E8-0A565B6586C7	1000000028	316 標準版	6	1000000028	2022-07-01 14:51:48	
パスワード	登録	有効期限日	タイプ	メモ		
	<input type="checkbox"/>	yyyy/mm/dd	0 ~	プロセス		
				ローカル		
				プロセス		
				マシン		
UID	シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日	
7E7A7268-0344-11E8-85E8-0A565B6586C7		316			2022-07-13	

プロセスかマシンに設定すると[NetID]ボタンが表示されます。

プロセス(ライセンス)はプログラム単位でライセンス管理を行います

マシン(ライセンス)はコンピュータ単位でライセンス管理をおこないます。

ネットワークドングルの詳細はネットドングル説明書をご参照ください。

注文明細の CVS ファイルダウンロード

注文 (2021-09-12)

シリアルNo	メモリ	Ver	名前	所有権要求日

CVSダウンロード
注文データ シリアル番号

[注文データ]ボタンで表示している注文データをテキストファイルとしてダウンロードできます。

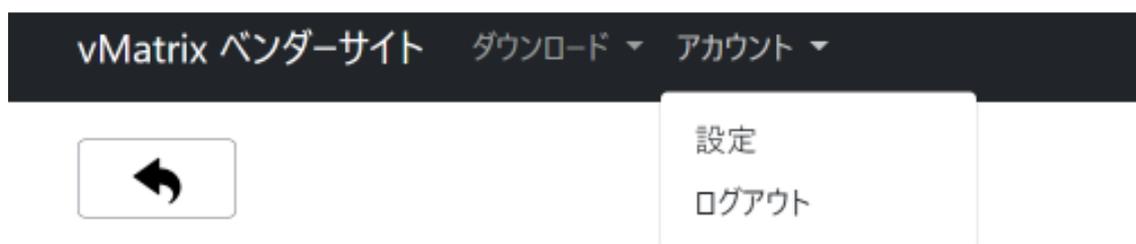
注文明細に含まれる dongle のシリアル番号のダウンロード

注文 (2021-09-12)



[シリアル番号]ボタンで表示している dongle のシリアル番号をテキストファイルとしてダウンロードできます。ダウンロードしたシリアル番号を含むテキストファイルはベンダーツールで利用できます。ツールにファイルをドロップすると、ファイルに含まれるシリアル番号の dongle をすべてアタッチできます。

ログインパスワード変更 / 2FA リセット



“アカウント”の“設定”を選択すると 2FA リセット/ログインパスワード変更のページを開けます。



画面右上のアイコンで2FA 有効化/リセット/パスワード変更のページを選択してください。



1. 2FA リセット

ベンダーログインの2FA 設定を変更します。[有効化]をクリックすると QR コードが表示されます。認証アプリで必ずスキャンしてください。認証アプリにアカウントの旧エントリが残っていたら削除してください。

QRコードが表示された時点で自動的にログアウトしています。ページを更新するとログインページが表示されます。

2. パスワード変更

現在のパスワードと新しいパスワードを設定後、[変更]ボタンで変更できます。自動ログアウトはしません。

II ベンダーアタッチツール

エンドユーザー向けコネクタプログラム(vMatrixConnector)で vDongle を接続するには、vDongle ファイルが必要です。このファイルはドングル利用者がダウンロードするもので、ベンダーの手元にはありません。そこでシリアル番号とベンダーの資格情報だけでドングルをアタッチするベンダーツールを用意しました。

このツールは vMatrixConnector をインストールしたコンピュータで実行してください。

ベンダー用 vDongle アタッチツール(vendor-attach.exe)

Vendor-attach.exe を実行すると次のウィンドウが表示します。



このツールは指定ドングルをユーザドングルとしてアタッチします。
アタッチするには左側のアイコンをクリックします。

アタッチする vDongle のシリアル番号を SerNr テキストボックスに入力してリターンキーを押すとリストに追加されます。複数のシリアル番号を設定できます。

シリアル番号を手動入力する代わりに、シリアル番号を1行ごとに記載したテキストファイルをリストボックスにドラッグアンドドロップすることでリストボックスにシリアル番号を追加できます。ベンダーサイトでダウンロードしたシリアル番号ファイルはそのままドラッグアンドドロップできます。

アタッチする vDongle のシリアル番号を設定後、ベンダーのログイン ID、パスワード、認証コードを入力して [OK] ボタンをクリックするとアタッチが完了します。

アタッチした vMatrix を操作している間、ツールは起動したままにしておいてください。終了するとすべての vDongle はデタッチされます。

デタッチ



右側アイコンをクリックするとアタッチしているすべての vDongle をデタッチします。また、プログラム終了時もアタッチしているすべての vDongle がデタッチされます。